

VII まとめと今後の課題

この一年間、本校では新らしい研究主題の採択と、総論・中論・高各学部での討議や研究授業にヒリ組んで来た。その結果をここにまとめて批判を仰ぎ、その上でいよいよ正式に発表の場を設ける予定である。従って、今はまだ将来の展望を云々する段階ではないが、これでもなお、予想される課題がないわけでもない。はじめに挙げた「家庭・社会との連携」以外に、校内でなすべきものとして、「養護・訓練」の位置づけや効果的な実施を検討することの必要性は、すでに本校放言に強く意識されている。もっとも、精神薄弱児の養護・訓練については、その意義に对する大方の理解が不足しており、未だ多くの学校で戸惑っているのが現状である。本校ではこれまでの討論で理解が進んだものの、具体的な方法については今後の研究に俟つところが大いである。要は子どもたちの能力伸長にあるわけだが、そこで今後はいよいよいよいよの状態に即して「生涯教育」とどう結び出すか、といった視点を加えていけないものかと存じている。いまはただ、この研究会の成果の高からんことを願って、また近く予定している大会によって得ることも大からんことを願って、しばらく努力を重ねていきたいと思う。